

出来ごころ (1933)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1933/09/07

【解説】

坂本武演じる喜八を主人公とした「喜八シリーズ」の第一弾。小津安二郎が自らの原案を監督した。脚本は池田忠雄。ちなみに喜八のキャラクターは、後の「寅さんシリーズ」の原点とも言われている。

長屋で息子の富夫と二人で暮らす喜八は、日雇い労働者として工場に勤めている。同僚で隣に住む次郎と一緒に演芸場へ出かけた喜八親子は、その帰り道で春江という女性と出会う。彼女は工場をクビになり、行く当てがないという。喜八は、行きつけの食堂の店主である“かあやん”に、春江を泊めてほしいと頼み込んだ。春江は食堂に住み込みで働かせてもらうことになった。富夫は年甲斐もなく春江に熱を上げるが、彼女は次郎に興味を持っていた。

【クレジット】

監督	小津安二郎	
原案	ジェームス・楨 James Maki	(小津安二郎)
脚本	池田忠雄	
撮影	杉本正二郎	
美術監督	脇田世根一	
衣裳	斎藤紅	
編集	石川和雄	
出演	坂本武	喜八
	伏見信子	春江
	大日方伝	次郎
	飯田蝶子	おとめ
	突貫小僧	富夫
	谷麗光	床屋